



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社パイロットコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7846 URL <https://www.pilot.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 伊藤 秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 白川 正和 (TEL) 03-3538-3700
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 2020年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	43,355	△16.4	7,663	△24.9	7,660	△24.4	5,094	△25.2
2019年12月期第2四半期	51,841	△0.9	10,205	△13.9	10,136	△14.9	6,807	△20.4

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 3,717百万円(△40.2%) 2019年12月期第2四半期 6,219百万円(△1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	129.17	—
2019年12月期第2四半期	172.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	125,632	83,996	65.7
2019年12月期	125,934	81,179	63.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 82,508百万円 2019年12月期 79,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2020年12月期	—	27.50	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△18.0	12,000	△37.3	12,000	△37.6	8,000	△39.7	202.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 2 Q	43,814,400株	2019年12月期	43,814,400株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 2 Q	4,370,872株	2019年12月期	4,370,872株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 2 Q	39,443,528株	2019年12月期 2 Q	39,443,621株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)における経済環境は、国内では新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受けて、社会・経済活動が急速に停滞したことにより低調に推移しました。海外でも各国の感染拡大防止のための経済活動自粛や、米中の経済摩擦再燃への懸念等により景気が急速に悪化し厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当社グループにおきましても、日本及び海外の多くの市場において販売店の休業や将来への不安に起因する消費マインドの冷え込み等の要因により、販売面で大変厳しい状況となりました。他方、大部分の主力製品を日本国内の工場で生産しているため、生産面では新型コロナウイルス感染症の流行の影響をほとんど受けることなく、将来的にコロナ禍が一段落した際の市場の需要に確実に応えられるよう準備を進めました。

この結果、当期間の連結売上高は433億55百万円(前年同期比83.6%)となりました。

国内外別では、国内市場における連結売上高は117億45百万円(前年同期比78.6%)、海外市場における連結売上高は316億10百万円(前年同期比85.7%)となりました。

また、損益につきましては連結営業利益が76億63百万円(前年同期比75.1%)、連結経常利益が76億60百万円(前年同期比75.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億94百万円(前年同期比74.8%)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(日本セグメント)

国内のステイショナリー用品事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。特に緊急事態宣言発出後、販売店の休業や短縮営業が相次いだため販売活動が停滞し、また外出自粛等の影響による消費の冷え込みの影響を受け、緊急事態宣言解除後も厳しい状況が続きました。

玩具事業においても同様に販売店の休業等の影響を受けましたが、主力商品である「メルちゃん」シリーズや知育玩具の国内での販売は巣ごもり需要等もあり、堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は145億30百万円(前年同期比77.8%)、セグメント利益は60億97百万円(前年同期比82.2%)となりました。

(米州セグメント)

米州地域につきましては、米国市場において、定番商品の「G-2(ジーツー)」や「V5」、「V7」等の販売が3月以降の新型コロナウイルスの感染症拡大による都市封鎖等の影響を受け伸び悩みました。加えてブラジル市場においてもコロナ禍の大きな影響を被り、苦戦が続きました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は121億93百万円(前年同期比87.2%)、セグメント利益は10億64百万円(前年同期比90.4%)となりました。

(欧州セグメント)

欧州地域につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大による都市封鎖の影響を受け「フリクション」シリーズをはじめとした主力商品が各国で苦戦したことに加えて、為替変動の影響も大きく、厳しい状況が続きました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は99億97百万円(前年同期比87.8%)、セグメント利益は8億76百万円(前年同期比72.8%)となりました。

(アジアセグメント)

アジア地域につきましては、中国において比較的早期に経済活動が再開され、「P-500/700」、「ジュース」シリーズ、「カクノ」等の販売は堅調であったものの、全般的にはコロナ禍の影響が残り伸び悩みました。その他の国と地域においても個人消費が低迷し苦戦しました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は66億33百万円(前年同期比85.0%)、セグメント利益は3億9百万円(前年同期比44.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億1百万円減少し、1,256億32百万円となりました。

流動資産は、1億33百万円減少し831億70百万円となり、固定資産は、1億68百万円減少し424億61百万円となりました。

流動資産につきましては、「現金及び預金」が22億87百万円増加した一方で、「受取手形及び売掛金」が27億2百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比31億18百万円減少し、416億36百万円となりました。

流動負債は、9億53百万円減少し318億23百万円となり、固定負債は、21億65百万円減少し98億13百万円となりました。

流動負債につきましては、「1年内返済予定の長期借入金」が10億7百万円増加した一方で、「支払手形及び買掛金」が14億96百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては、「長期借入金」が19億99百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比28億16百万円増加し、839億96百万円となりました。これにつきましては、「利益剰余金」が42億7百万円増加した一方で、「為替換算調整勘定」が15億64百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、当第2四半期連結累計期間の連結業績及び最近の業績動向等を踏まえて、2020年2月12日に公表した、当初予想を本日修正しました。詳しくは、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,815	35,103
受取手形及び売掛金	23,665	20,962
商品及び製品	16,093	17,095
仕掛品	4,513	4,690
原材料及び貯蔵品	3,003	3,173
その他	3,297	2,225
貸倒引当金	△85	△79
流動資産合計	83,303	83,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,398	25,453
減価償却累計額	△12,522	△12,772
建物及び構築物(純額)	11,876	12,680
機械装置及び運搬具	34,454	35,756
減価償却累計額	△28,040	△28,605
機械装置及び運搬具(純額)	6,414	7,151
その他	19,031	18,426
減価償却累計額	△16,645	△16,274
その他(純額)	2,386	2,152
土地	5,377	5,264
建設仮勘定	1,814	671
有形固定資産合計	27,869	27,919
無形固定資産		
借地権	5,355	5,355
その他	784	804
無形固定資産合計	6,139	6,159
投資その他の資産		
投資有価証券	3,843	3,467
繰延税金資産	2,457	2,582
退職給付に係る資産	1,165	1,314
その他	1,212	1,062
貸倒引当金	△56	△43
投資その他の資産合計	8,621	8,383
固定資産合計	42,630	42,461
資産合計	125,934	125,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,355	11,859
短期借入金	5,123	4,991
1年内返済予定の長期借入金	2,158	3,166
未払費用	3,106	2,627
未払法人税等	1,967	2,134
返品調整引当金	200	193
賞与引当金	718	569
役員賞与引当金	69	22
その他	6,076	6,259
流動負債合計	32,776	31,823
固定負債		
長期借入金	10,242	8,242
繰延税金負債	42	63
役員退職慰労引当金	126	116
環境対策引当金	17	34
退職給付に係る負債	686	706
負ののれん	239	179
その他	622	469
固定負債合計	11,978	9,813
負債合計	44,755	41,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,340
資本剰余金	7,913	7,913
利益剰余金	95,615	99,823
自己株式	△20,061	△20,061
株主資本合計	85,808	90,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	71
為替換算調整勘定	△6,029	△7,593
退職給付に係る調整累計額	△13	14
その他の包括利益累計額合計	△5,998	△7,507
非支配株主持分	1,368	1,487
純資産合計	81,179	83,996
負債純資産合計	125,934	125,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	51,841	43,355
売上原価	24,000	20,418
売上総利益	27,841	22,937
販売費及び一般管理費	17,635	15,274
営業利益	10,205	7,663
営業外収益		
受取利息	64	47
受取配当金	210	90
負ののれん償却額	59	59
その他	173	218
営業外収益合計	509	416
営業外費用		
支払利息	116	86
為替差損	363	287
その他	98	45
営業外費用合計	578	419
経常利益	10,136	7,660
特別利益		
固定資産売却益	9	360
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	9	360
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	30	19
投資有価証券評価損	192	404
投資有価証券売却損	0	-
環境対策引当金繰入額	-	16
特別損失合計	222	445
税金等調整前四半期純利益	9,923	7,575
法人税等	3,079	2,324
四半期純利益	6,844	5,250
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,807	5,094

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	6,844	5,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	23
為替換算調整勘定	△700	△1,583
退職給付に係る調整額	△10	27
その他の包括利益合計	△624	△1,532
四半期包括利益	6,219	3,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,213	3,585
非支配株主に係る四半期包括利益	6	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

主な連結子会社は、税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア (注)1	報告 セグメント 計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	18,675	13,977	11,381	7,807	51,841	—	51,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,373	0	11	—	20,384	△20,384	—
計	39,048	13,977	11,392	7,807	72,226	△20,384	51,841
セグメント利益	7,418	1,177	1,203	695	10,495	△289	10,205

(注) 1 「アジア」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア (注)1	報告 セグメント 計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	14,530	12,193	9,997	6,633	43,355	—	43,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,599	0	8	—	19,608	△19,608	—
計	34,130	12,194	10,005	6,633	62,964	△19,608	43,355
セグメント利益	6,097	1,064	876	309	8,347	△684	7,663

(注) 1 「アジア」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。